

ベネズエラ経済（2014年 6月）

1 経済概要

（1）政府の各種政策・統計

- 政府公式データによると、2014年1－4月の輸入向け外貨割当総額は59.78億米ドルとなった。
- ベネズエラ中央銀行（BCV）理事及びPDVSA社外取締役は、ジョルダニ企画大臣からマルコ・トーレス経済・財務・公共銀行大臣へ交替となった。

（2）政府予算・財政

- 政府公式データによると、2014年の対内・対外債務元利払いは総額156億米ドル相当（その内、2014年の対外債務における元利支払残高は52億米ドル）となった。
- ラミーレス経済担当副大統領は、2014年内の為替レート統一化の必要性につき言及した。

（3）石油・天然ガス産業

- 2013年PDVSA経営報告が発表され、原油・石油製品売上高は、前年比8.4%減の1,139.79億米ドルとなった。

（4）自動車産業

- ベネズエラ自動車会議所（CAVENEZ）は、加盟全7社の5月の自動車生産台数が前年同月の8,152台に比し84.75%減の1,243台にとどまった旨発表した。

（5）その他産業

- ベネズエラ航空会社協会によると、外貨未清算残高は、2012年計上分111.7百万米ドル、2013年計上分30.3億米ドル、2014年計上分408.9百万米ドルとなった。

（6）外貨発給状況

- CENCOEXによると、本年のSICAD1の競売全15回における外貨割当額は、27.95億米ドルとなった。なお、全15回中8回分の申請企業社総数は6,779社であったのに対し、割当除外企業は4,619社に上っている。
- マドウーロ大統領は、SICAD2に関し10点満点中2点という評価を下し、民間分野による投資活性化が必要である旨言及した。

2 経済の主な動き

(1) 政府等の各種政策・統計

ア 経済指標（実績）

●2014年1－4月輸入額

政府公式データによると、2014年1－4月の輸入向け外貨割当総額は59.78億米ドルとなった。なお、為替レート別の内訳は、1米ドル＝6.3ボリバルで40.32億米ドル、1米ドル＝10.0ボリバル（SICAD1レート）で16.16億米ドル、及び1米ドル＝49.0ボリバル（SICAD2レート：推定）で3.3億米ドルであった。

（17日付エル・ユニベルサル紙）

●インフレ率

ベネズエラ中央銀行（BCV）は、5月のインフレ率が5.7%となり、直近12ヶ月の累積インフレ率が、60.9%に達した旨発表した。

（12日付BCVプレスリリース）

●極貧率

国家統計局（INE）によると、2013年の極貧率は、1999年の9.9%から5.5%へ減少した。

（10日付エル・ムンド紙）

●2013年直接投資受入額

国連貿易開発会議によると、2013年の対ベネズエラ直接投資額は70億米ドル、一方、ラテンアメリカ・カリブ地域への総直接投資額は1,820億米ドルであった。

（25日付エル・ムンド紙）

●食料バスケット

労働者情報分析センター（CENDA：El Centro de Documentacion y Analisis para los Trabajadores）によると、3月の食糧バスケット価格は前月比6.3%増の7,245.13ボリバルとなった。

（2日付エル・ユニベルサル紙）

●2013年民間消費・家計所得

バンクオブアメリカ・メリルリンチによると、2013年の民間消費及び家計所得はそれぞれ前年比5.1%減、2.7%減となった。

（10日付エル・ナショナル紙）

イ 経済指標（見通し）

●2014年インフレ・購買力・民間消費

Pedro Palma・Ecoanalitica社取締役兼IESA教授によると、2014年のインフレ率を70%超、均衡為替レートを1米ドル＝20ボリバルとする予測を発表した。

（10日付エル・ユニベルサル紙、エル・ナショナル紙）

●為替レート別輸入構成比

Ecoanalitica社によると、2014年の為替レート別輸入構成比は、1米ドル＝6.3ボリバルのレートで国家による輸入が52%、民間分野による輸入が24%、SICAD1のレートでの輸入が4.8%、SICAD2のレートでの輸入が14.4%、その他が4.8%となる予測を発表した。

また、加重平均した実効為替レートは、2013年平均の1米ドル＝8.1ボリバルから2014年第1四半期平均では1米ドル＝14.9ボリバルに達したとの推計値を発表した。

(22日付エル・ユニベサル紙)

●Fitch RatingによるGDP成長率・インフレ率予測

Fitch Ratingによると、2014年のGDP成長率はマイナス1%以下、インフレ率は50%超との予測を発表した。

(26日付エル・ユニベサル紙)

ウ 各種政策・規制・規則

●住宅購入向け融資上限額の変更

政府は、住宅購入向け融資上限額を35万ボリバルから50万ボリバルへ、自己建設の場合は、上限額を20.5万バレルから40万バレルへ引き上げる旨発表した。

(17日付エル・ユニベサル紙)

エ 組織・人事

●ベネズエラ中央銀行理事及びPDVSA社外取締役

官報40429号は、ベネズエラ中央銀行（BCV）理事及びPDVSA社外取締役をジョルダーニ企画大臣からマルコ・トーレス経済・財務・公共銀行大臣へ交替する旨交付した。

(10日付官報40429号)

●閣僚人事

マドゥーロ大統領は同大統領ラジオ・テレビ番組プログラム(En Contacto con Maduro)を通じ、以下の閣僚人事を発表した。

・企画大臣

旧：ホルヘ・ジョルダーニ

新：リカルド・メネンデス（企画・土地開発担当副大統領職兼務）

・大学教育大臣

旧：リカルド・メネンデス

新：ジェイソン・グスマン

・空輸海運大臣

旧：ヘベルト・ガルシア・ブラサ

新：ルイス・グラテロル・カラバージョ

・食糧大臣

旧：フェリックス・オソリオ

新：ヘベルト・ガルシア・ブラサ

(18日付エル・ナショナル紙)

オ 貿易統計

●対コロンビア貿易

・コロンビア国税・関税庁 (DIAN) によると、5月のベネズエラからの輸入額は、前年同月の37.1百万米ドルに比し、32.9百万米ドルとなった。他方で、ベネズエラへの輸出額は、前年同月の150.8百万米ドルに比し、96.2百万米ドルとなった。

(4日付エル・ユニベルサル紙)

・ベネズエラ・コロンビア商工会議所 (CAVECOL) によると、1－5月のコロンビアからの輸入額は、前年同期の963百万米ドルに比し696百万米ドルとなった。他方で、コロンビアへの輸出額は、前年同期の178百万米ドルに比し、213百万米ドルとなった。

(22日付エル・ユニベルサル紙)

カ その他

●コンテナ取扱量

ラテンアメリカ・カリブ経済委員会 (ECLAC) によると、2013年のベネズエラにおけるコンテナ取扱量は前年比8.2%減となった。

なお、同国で最も荷役取扱量が多い Puerto Cabello 港においては、前年比9.4%減の76万6,813本 (20フィート・コンテナ換算) となった。

(26日付エル・ユニベルサル紙)

●中国・ベネズエラ外交40周年式典

中国・ベネズエラ外交40周年記念式典が開催され、ハウア外相及びメネンデス企画大臣が参加した。なお、両国間では既に300を超える二国間合意が交わされている。

(27日付エル・ムント紙)

●世界銀行 Doing Business によるベネズエラ分析

世界銀行の Doing Business によると、ベネズエラのビジネス障壁は、為替政策、労働保護、官僚的な諸手続、各種法規制、及びインフレーションとの分析結果となった。

(30日付エル・ナショナル紙)

(2) 政府予算・財政

ア 税収

租税監督庁 (SENIAT) によると、6月の徴税額は前年比58.5%増の361億ボリバルとなった。

(7月17日付SENIATプレスリリース)

イ 追加予算

6月の国会 (財務・経済開発委員会) による追加予算承認額は、63.96億ボリバルとなった。

(17日付官報40435号)

ウ 財政支出

経済・財務・公共銀行省によると、1-5月の財政支出額は、前年同期に比し79%増の3,170億ボリバルとなった。

(6日付エル・ウニベルサル紙)

エ 政府債務残高

● 2014年第1四半期の政府債務残高

経済・財務・公共銀行省によると、2014年第1四半期の政府債務残高は、対外債務残高が前年末比0.7%減の444億米ドル、対内債務残高が同比7.8%増の612億米ドルとなった。

(7日付エル・ウニベルサル紙)

● 2014年の対内・対外債務元利払い

政府公式データによると、2014年の対内・対外債務元利払いは総額156億米ドル相当 (その内、2014年の対外債務における元利支払残高は52億米ドル)、2015年の対内・対外債務元利払いは総額195億米ドル相当となっている。

(10日付エル・ウニベルサル紙)

● 2013年第3四半期までの政府の対外債務支払い額

ベネズエラ中央銀行のデータによると、2013年第3四半期までの政府の対外債務支払い額は、121.28億米ドルと原油分野の輸出総額に対し19%相当となった。

(25日付エル・ウニベルサル紙)

オ PDVSAによる国内石油製品向け補助金額

Ecoanalitica社によると、2014年1-3月のPDVSAによる国内石油製品向け補助金額は、前年同期比2%増の69.7億米ドルとなった。

(6日付エル・ウニベルサル紙)

カ ロンドンにおける機関投資家向け説明

ラミーレス経済担当副大統領がロンドンにおいて50余りの機関投資家向けの説明会を開き、近い将来の為替レート統一化に言及した。また、国内ガソリン価格の調整に関しては、既に協議が開始され良好な滑り出しを見せていること、融資返済の取組としては、中国基金による410億米ドルの総融資額に対し、既に240億米ドルを返済し、残額は170億米ドルであること、中国からは新たに40億米ドルの融資の可能性があること、PDVSAによる本年の社債発行の予定はないこと、当国の外貨準備高は充分であり、及び近い将来に国家開発基金（FONDEN）及び中国基金の一部を（中銀に）移行させる予定がある等述べた。

（14日～17日付エル・ユニベルサル紙、エル・ナショナル紙、エル・ムンド紙）

キ 各種基金

●2005年～2013年運用額

経済・財政・公共銀行省によると、2005年～2013年の国家開発基金（FONDEN）及び中国基金運用額は総額1,250億米ドルに達した。

（20日付エル・ユニベルサル紙）

●残高推移

経済・財政・公共銀行省のデータに基づくEcoanalitica社分析によると、3月末時点における各種基金の残高は134億米ドルであった。なお、同基金残高は、2012年末が171億米ドル、2013年末が95億米ドルであった。

（25日付エル・ムンド紙）

ク 要人発言

●為替レート統一化

ラミーレス経済担当副大統領は、2014年内の為替レート統一化の必要性につき言及した。

（28日付エル・ユニベルサル紙、エル・ナショナル紙）

（2）石油・天然ガス産業

ア 原油生産・精製・輸出・輸入動向

●生産量

OPEC データによると、6月のベネズエラの原油生産量は、日量平均280.8万バレルであった。なお、2014年第1四半期、第2四半期のベネズエラの原油生産量は、日量平均でそれぞれ、287.0万バレル、282.6万バレルとなった。

（OPEC ホームページ）

イ 対外取引

●対米国

米国エネルギー情報局によると、2014年1－3月のベネズエラからの原油・石油輸入量が前年同期日量75.4万バレルに比し同75.5万バレル、ベネズエラ向け同輸出量が前年同期日量8.2万バレルに比し同4.2万バレルであった旨発表した。

(10日付エル・ユニベルサル紙)

●対中国

PDVSA 財務報告書によると、中国向け原油・石油輸出量及び輸出額は以下のとおりとなった。

単位:合意枠及び輸出量 kbbl/d, その他 百万US\$				
年	合意枠	実績		Bandes決済
		輸出量	輸出額	
2011	480	415	14,637	6,724
2012	530	451	16,213	12,445
2013	550	485	16,559	9,640

(24日付エル・ユニベルサル紙)

ウ 与信の合意状況

●伊 ENI 及び西 Repsol との天然ガス開発合意

PDVSA は、ENI 及び Repsol と天然ガス開発に関わるサインボーナス10億米ドル及び2019年までに総額70億米ドルの投資を実行する計画につき合意に至った。なお、2015年に初期生産として4.5億cf、最大生産として12億cfを計画している。

(4日付 PDVSA プレスリリース)

エ ペトロカリベ

●エルサルバドル加盟申請

セレン・エルサルバドル大統領は、ペトロカリベへの正式加盟申請が完了した旨発表した。

(3日付エル・ムンド紙)

●2013年ペトロカリベ向け原油・石油輸出量及び輸出額

PDVSA 財務報告書によると、2013年ペトロカリベ向け原油・石油輸出量は、前年の日量30.2万バレルから32.8万バレル、同輸出額は前年の27.28億米ドルから32.14億米ドルとなった。

(24日付エル・ユニベルサル紙)

オ 第165回OPEC定例総会

ウィーンにおいて、第165回OPEC定例総会が開催され、日量3,000万バレルの生産枠にて合意に至った。

(12日付エル・ユニバサル紙, エル・ナショナル紙, エル・ムント紙)

カ 2013年PDVSA決算

2013年PDVSA決算におけるBS/PL概要以下のとおり。

<BS>

(単位: US\$百万)

【資産】	2013	2012	増減	2011	【負債】	2013	2012	増減	2011
流動資産 計	67,732	74,882	▲ 9.5%	56,681	流動負債 計	65,226	71,060	▲ 8.2%	47,033
- 現金及び現金等価物	9,133	8,233	10.9%	8,610	- 買掛金	21,404	16,747	27.8%	12,376
- 売掛金及び受取手形	36,020	41,706	▲ 13.6%	31,576	- 借入金	7,031	4,379	60.6%	2,396
- 在庫	12,963	11,606	11.7%	10,116	- その他	36,791	49,934	▲ 26.3%	32,261
- その他	9,616	13,337	▲ 27.9%	6,379	固定負債 計	81,408	74,878	8.7%	65,492
固定資産 計	163,388	143,542	13.8%	125,473	- 借入金	36,353	35,647	2.0%	32,496
- 売掛金及び受取手形	9,101	9,223	▲ 1.3%	7,008	- 未払い買金等	16,624	13,797	20.5%	10,192
- 不動産、プラント及び機械設備	129,831	115,905	12.0%	98,221	負債 計	146,634	145,938	0.5%	112,525
- その他	24,456	18,414	32.8%	20,244	【純資産】				
					- 資本金	39,094	39,094	0.0%	39,094
					- 利益剰余金	23,169	19,570	18.4%	17,353
					- その他	22,223	13,822	60.8%	13,182
					純資産 計	84,486	72,486	16.6%	69,629
資産 計	231,120	218,424	5.8%	182,154	負債純資産 計	231,120	218,424	5.8%	182,154

<PL>

(単位: US\$百万)

	2009	2010	2011	2012	2013	増減(%)
収益	79,692	95,348	125,519	127,611	134,326	5.3
(内、原油・石油製品売上)	73,819	94,929	124,754	124,459	113,979	▲ 8.4
費用・経費	67,037	81,239	90,157	98,661	97,623	▲ 1.1
社会貢献費及び税引前利益	12,655	14,109	35,362	28,950	36,703	26.8
社会貢献費	3,514	7,018	30,079	17,336	13,023	▲ 24.9
税引前利益	9,141	7,091	5,283	11,614	23,680	103.9
法人所得税	3,310	3,849	2,007	7,279	7,845	7.8
純利益	4,557	2,684	4,629	4,335	15,835	265.3

(単位: 米ドル/バレル)

石油価格	57.01	72.18	100.11	103.42	98.08	▲ 5.2
------	-------	-------	--------	--------	-------	-------

出典: PDVSAホームページ(当館にて表作成)

(PDVSAホームページ公開情報から当館表作成)

(4) 自動車産業

ア 生産・組立/販売台数

ベネズエラ自動車会議所(CAVENEZ)は、加盟全7社の5月の自動車生産台数が前年同月の8,152台に比し84.75%減の1,243台にとどまった旨発表した。

他方で、5月の国内生産車、輸入車の国内販売台数は、前年同月に比しそれぞれ67.6%減の2,631台、99.8%減の6台となった。

(5日及び10日付CAVENEZ発表)

イ メーカー所在国・地域別市場流通シェア

ベネズエラ自動車製造産業協会(FAVENPA)によると、2013年メーカー所在国別・地域別市場流通シェアは、米国が29.6%(30.3%)、日本が26.5%(26.3%)、

欧州が14.1%（14.3%）、韓国が17.1%（16.6%）等となった。

（内は2012年数値

（23日付エル・ムンド紙）

ウ エイジング別シェア

ベネズエラ自動車製造産業協会（FAVENPA）によると、2013年エイジング別市場流通台数は、0－5年が22.3%（31.7%）、6－10年が30.4%（21.6%）、11－15年が17.7%（19.2%）、16年以上が29.6%（27.5%）となった。

（内は2012年数値

（23日付エル・ムンド紙）

エ La Venezolana（中国メーカー販売店）問題

ベネズエラ政府によると、La Venezolana 社の問題での被害者数は5,965名に上っている。また、同社の情報に基づくと、同社の契約金額は総額11.7百万米ドルであった。なお、6日、同社元社長及び同氏の国外逃亡を幫助した疑いで4名の逮捕に至っている。

（3日付及び7日付エル・ウニベルサル紙）

（5）その他

ア 観光

イサラ観光大臣は、2019－2020年計画として、観光分野のGDP成長率への寄与を9%とする旨発表した。

（2日付エル・ムンド紙）

イ 鉄鋼

2014年1－4月のSIDOR社による鉄塊生産量は、2007年時の約1ヶ月分に相当する379千トンとなった。

（3日付エル・ナショナル紙）

ウ 航空

●外貨発給動向

航空業界筋によると、5月31日までに2013年12月及び2014年1月航空券販売分に対し、14の航空会社向けにSICAD1のレートにより総額109.6百万米ドルの外貨発給許可が下りた旨明かされた。なお、当該発給許可に対する為替差損は、総額73.7百万米ドルとなった。

(6日付エル・ナショナル紙)

●外貨未清算残高

ベネズエラ航空会社協会によると、外貨未清算残高は、2012年計上分111.7百万米ドル、2013年計上分30.3億米ドル、2014年計上分408.9百万米ドルとなった。

(17日付エル・ナショナル紙、エル・ムント紙)

●国内航空会社保有機稼働状況

ベネズエラ航空会社協会によると、国内航空会社が保有する120機の稼働状況は51.7%の62機体となっている。

(23日付エル・ムント紙)

エ 通信

国家電気通信委員会 (CONATEL) によると、2014年第1四半期の通信分野における投資額は、前年同期比46.3%増の18.06億ボリバルに達した。

(10日付エル・ムント紙)

オ 電力

・政府の公式統計によると、2014年の最大電力需要は6月4日の18,521Mwとなった。因みに、2013年の最大電力需要は5月15日の18,896Mwであった。

(25日付エル・ウニベルサル紙)

・27日、全18州及びカラカス市において、国内の約60%相当に及ぶ範囲で大規模停電が発生した。

(28日付エル・ウニベルサル紙、エル・ナショナル紙、ウルティマス・ノティシアス紙)

(6) 外貨発給状況

ア SICAD

●SICAD 1

・CENCOEXによると、本年のSICAD1の競売全15回における外貨割当額は、27.95億米ドルとなった。なお、全15回中8回分の申請企業社総数は6,779社であったのに対し、割当除外企業は4,619社に上っている。

(27日付エル・ムント紙)

・ベネズエラ中央銀行 (BCV) によると、6月のSICAD1による合計3度の競売実績は、総額6億912万3,111.35米ドルであった。

(BCV/CENCOEXプレスリリース)

●SICAD2

・マドゥーロ大統領は、SICAD2に関し10点満点中2点という評価を下し、民間分野

による投資活性化が必要である旨言及した。

(11日, 12日付エル・ユニバーサル紙, エル・ナショナル紙, エル・ムンド紙)